

地権者  
関係者  
情報誌

# がじゃんびら通信 第18号

～ 那覇軍港の将来のまちづくりに向けて～

発行：那覇市 総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室

協力：那覇軍用地等地主会

## 今年度の活動内容の報告

### これまでの合意形成活動の評価・検証の結果、 次年度より、跡地利用計画づくりに取り組みます！

今年度は、跡地利用計画づくりの段階（第2ステージ）への移行期間の最終年度として、地権者等の「意識醸成」に向けた取り組みと「組織づくり」に向けた取り組みを継続するとともに、第2ステージに向けた検討を行いました。

その結果、次年度より跡地利用計画づくりに取り組むこととなり、那覇軍港のまちづくりの実現に向けて前進します。今年度の活動概要は以下の通りです。

#### 地権者等の「意識醸成」に向けた取り組み

	開催日	主な内容
地主会等 勉強会	H27.10.25	テーマ <b>那覇空港滑走路増設事業について</b> （利用状況と工事の進捗状況） 講師 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課長・那覇空港プロジェクト室長 細見暁彦 氏
	H28. 1.17	テーマ <b>キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）跡地利用計画について</b> 講師 宜野湾市 基地政策部 まち未来課
	H28. 1.24	テーマ <b>海からの那覇軍港視察</b> 講師 那覇軍用地等地主会 理事 渡嘉敷邦彦 氏、新垣幸助 氏
説明会	H28. 1.24	合意形成活動全体計画説明会（第3回地主会等勉強会同時開催）
那覇軍港 まちづくり フォーラム	H28. 3.19	・那覇軍港の歴史と跡地利用に向けて（PR映像上映） ・「那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」活動紹介 ・パネルディスカッション「跡地利用への期待」

#### 「組織づくり」に向けた取り組み

	開催日	主な内容
次世代の会 定例会	毎月1回	・跡地利用計画の検討に向けた考え方や今後の次世代の会のあり方
次世代の会 視察及び 意見交換会	H27. 8.16	・牧港補給地区沖合の視察及び牧港補給地区跡地利用計画に関する意見交換会
	H27. 9.22	・那覇港若狭バース・大型クルーズ船内視察
	H27.10. 8	・「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」との意見交換会
合同意見 交換会	H28. 2. 7	・次世代の会の活動報告と意見交換 ・第2ステージ（跡地利用計画づくりの段階）への移行について

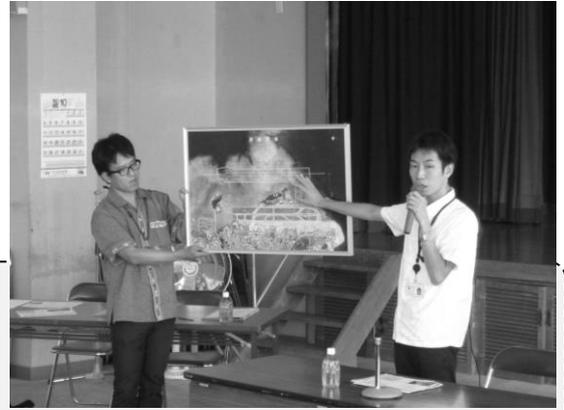
#### 第2ステージに向けた検討

	開催日	主な内容
合意形成 推進委員会	H27.11.19	・合意形成活動達成目標の評価方法
	H28. 1.15	・ステージ移行の検討
	H28. 2.10	・ステージ移行の適否 ・今後の活動の方向性の検討

跡地利用計画づくりに向けて、那覇軍港の周辺状況や歴史、跡地利用計画の内容について勉強することを目的に以下のテーマで開催しました。

## 第 1 回勉強会 **那覇空港滑走路増設事業について** (利用状況と工事の進捗状況)

第 1 回勉強会では、内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課長・那覇空港プロジェクト室長 細見 暁彦 氏を招き、「那覇空港滑走路増設事業について (利用状況と工事の進捗状況)」と題してご講演いただき、意見交換を行いました。



### 参加者の声 (アンケートより)

- 那覇空港滑走路増設の必要性、事業内容及び事業のスケジュールが分かった。(那覇軍港跡地利用に絶対影響があると考える)
- 人の数が直接影響する為、空港と跡地利用は必ず考えなければならない、離島である沖縄は窓口が空港か港しかない、そのどちらも近隣にある那覇軍港ではそれらを考慮して跡地利用を考えないと、とんでもない失敗した跡地利用計画になる。
- 跡地利用は近接する那覇空港の動向 (事業計画・実施) と密接に関連してくる。滑走路 2 本の規模拡大による旅客数の増加、貨物ハブ空港としてのアジア地域との物流の活性化に伴い、それと連動した跡地利用を考える必要がある。(観光関連施設、沖縄の農水産物の輸出関連施設等の設置)

## 第 2 回勉強会 **キャンプ瑞慶覧 (西普天間住宅地区) 跡地利用計画について**

第 2 回勉強会では、宜野湾市 基地政策部 まち未来課 (多和田 功 次長兼課長、塩川 浩志 係長、山城 憲三郎 担当技査) を招き、「キャンプ瑞慶覧 (西普天間住宅地区) 跡地利用計画について」と題してご講演いただき、意見交換を行いました。



### 参加者の声 (アンケートより)

- 具体的に計画に基づいて進められている話を聞くことができ参考になった。
- 跡地利用計画をヴァーチャルで見ることができ将来をイメージすることができた。
- 跡地利用計画について、地主と市だけでなく県と国を巻き込んで計画づくりをしてきたということが参考になった。
- 4 回にわたる地権者の意見 (アンケート) を基に跡地利用を計画していることは良い。地権者を理解させること及び住民の希望は大事である。

### 第3回勉強会

## 海からの那覇軍港視察

第3回勉強会では、クルーズ船にて海からの那覇軍港視察を予定していましたが悪天候のため出港できず、船内にて那覇軍用地等地主会理事の渡嘉敷邦彦氏と新垣幸助氏より、「垣花三町の歴史」と題してご講演いただき、意見交換を行いました。

#### 参加者の声（アンケートより）

- 戦前を知る人が少なくなっている中、豊富な資料で昔の垣花を解説してくれたのは良かった。
- 過去の歴史から現在に至るまでの歴史について大変勉強になった。基本的な歴史を学ぶ事が今後役に立つと思う。
- 実際に海から軍港の見学ができるのを楽しみにしていただけに天気に恵まれず叶わなかったのは残念だった。
- もしできれば次回にはぜひ船から那覇軍港を見てみたいと思った。
- 今まであまり関心がなかったが、これを機に勉強してみようと思った。



那覇軍用地等地主会理事  
渡嘉敷 邦彦 氏



那覇軍用地等地主会理事  
新垣 幸助 氏

### 合意形成活動全体計画説明会（第3回地主会等勉強会同時開催）

## 悪天候にもかかわらず、たくさんのご参加ありがとうございました！

今年度の説明会は、合意形成活動全体計画の説明のほか、那覇軍港を海から視察できるようにクルーズ船内にて実施いたしました。残念ながら悪天候のため出港はできませんでしたが、船内にて説明をお聞きいただきありがとうございました。

また、申し込み多数のため先着順のご案内となってしまう、ご案内できなかった皆様にはご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんでした。

#### 合意形成活動全体計画とは？

「跡地利用の進め方についての共通認識」を図るための活動を「いつ」「誰が」「誰に対して」「どのように」行うかを体系的にまとめた計画です。



#### 参加者の声（アンケートより）

- 今回初めて参加した。説明会のお話を聞いたら、今までとは違った今後の土地利用への意識が高まった。
- 受講するような形式ではなく、ディスカッション形式があると更に良くなると思った。
- 合意形成活動全体計画の必要性は良く分かったが、漠然とした感じで理解できなかった。若い世代による組織づくりははっきりとした成果として分かった。
- スケジュール感（いつまで、平成〇〇年までに△△を決める）を確認しておきたい。作業内容（例えば基本方針の策定の流れ、フロー図）を確認しておきたい。

## 沖縄県全体の発展に向けた那覇軍港のまちづくりについて

那覇軍港のまちづくりを考えることを目的に市民・県民フォーラムを開催いたしました。

第1回目となる今回、地権者をはじめ市民・県民の皆様我那覇軍港について考えはじめる機会となるよう、那覇軍港の歴史と跡地利用に向けた活動を紹介するとともに、「跡地利用への期待」をテーマに学識者や地権者、市長などが討論しました。

### 1 「那覇軍港の歴史と跡地利用計画に向けて」(PR映像上映)

県都那覇市に所在する駐留軍用地である那覇軍港には、かつて「垣花」と呼ばれるまちがありました。その垣花の歴史と跡地利用に向けた取り組みを映像で紹介しました。



### 「那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」活動紹介

## 2



との連  
●海辺の  
●沖縄文

「那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」の発足からこれまでの活動内容及び今後の活動について、次世代の会のメンバーのひとりである我那覇茂氏がスライドを用いて紹介しました。

### 3 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、学識者や地権者、行政といった様々な視点から「跡地利用への期待」について討論していただき、那覇軍港の跡地利用に向けて5つの点が確認されました。

- ①合意形成活動を基礎とした跡地利用計画づくりの始まりであること
- ②ウォーターフロントや歴史など那覇軍港が持つ個性を活かすこと
- ③国際的な交易拠点として沖縄経済を担うほどのポテンシャルを持つこと
- ④西海岸地域における役割分担が重要であること
- ⑤地主会及び次世代の会の活躍が期待されること



## 那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会の活動

地主の次の世代で構成され、地主になる前から那覇軍港の将来のまちづくりについて検討する組織、次世代の会。彼らの今年度の活動を報告します。

### 毎月1回、定期的に活動を実施

毎月1回の定例会や先進地視察、他組織との意見交換会を通して、跡地利用計画の検討に向けた次世代としての考え方が整理されつつあります。

また、将来のまちづくりにおいては若い世代が主役にならなければならないと言われてい  
る中、次世代の会のメンバーたちも将来のまち  
づくりに向けて知識の習得に努めています。

#### 平成27年度に学んだこと

- 牧港補給地区との連携が重要
- 跡地の規模や状況に応じて跡地利用方法は異なる
- 那覇軍港唯一のものに着目
- まちづくりは情報発信から

#### 那覇軍港移設予定地の視察



#### 普天間 若手の会との意見交換



## 地主会理事会と那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会との合同意見交換会

### 現役世代と次世代の協力・連携が確認されました！

地主会理事会より、“跡地利用に対する次世代の考えを聞かせてほしい。そして一緒に跡地利用を検討していきたい”との意見があり、現役世代と次世代が協力・連携して跡地利用計画づくりに取り組んでいくことが確認されました。



- 遠慮がちにならずに、那覇軍港の跡地利用に対する次世代としての考えを発言してほしい。

#### 地主会理事のご意見

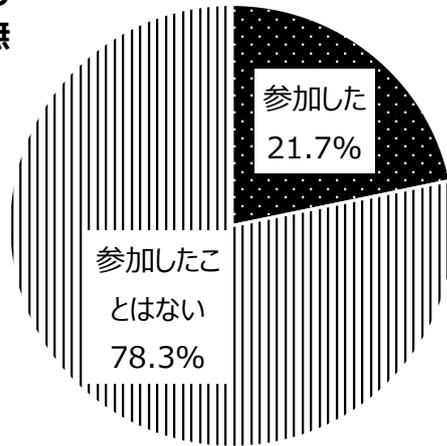
- 次世代に期待しており、跡地利用について一緒に考えていきたい。

# アンケート調査にご協力いただきありがとうございました！

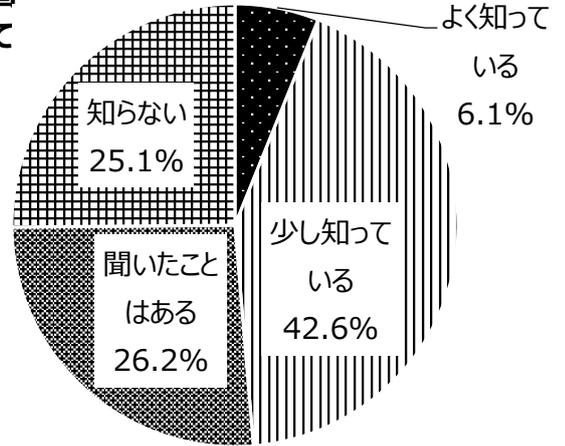
これまでの合意形成活動の評価・検証と今後の合意形成活動内容の検討にあたり、アンケート調査へのご協力ありがとうございました。調査結果の概要をご報告いたします。

## 合意形成活動全体計画説明会について

説明会の参加有無

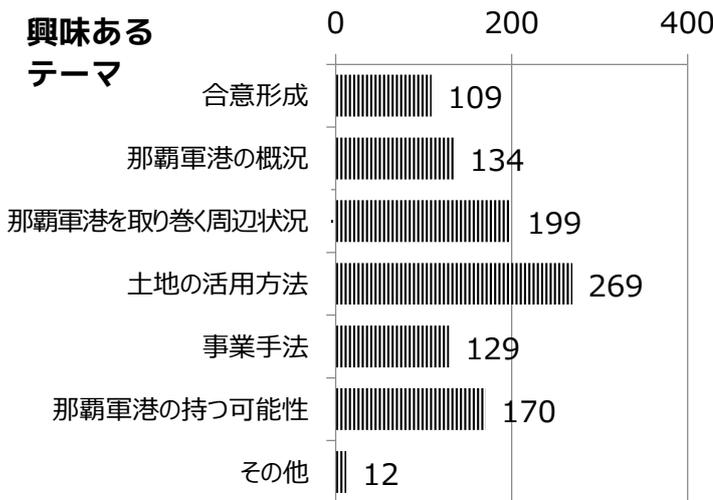


全体計画を知っているか

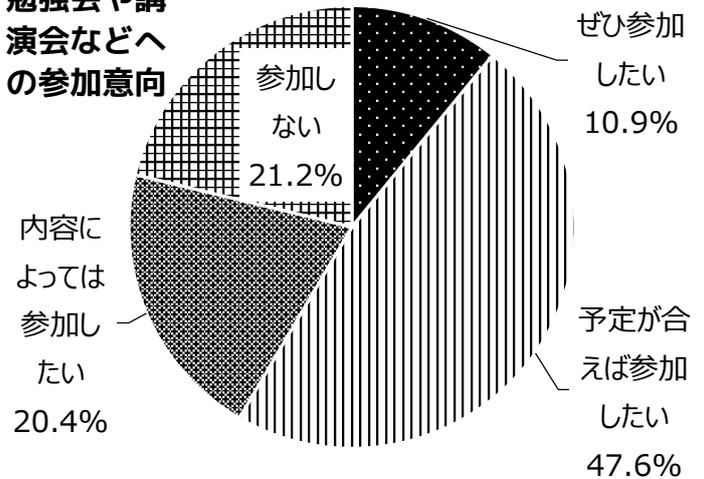


## 跡地利用に関する勉強会や講演会などについて

興味あるテーマ



勉強会や講演会などへの参加意向

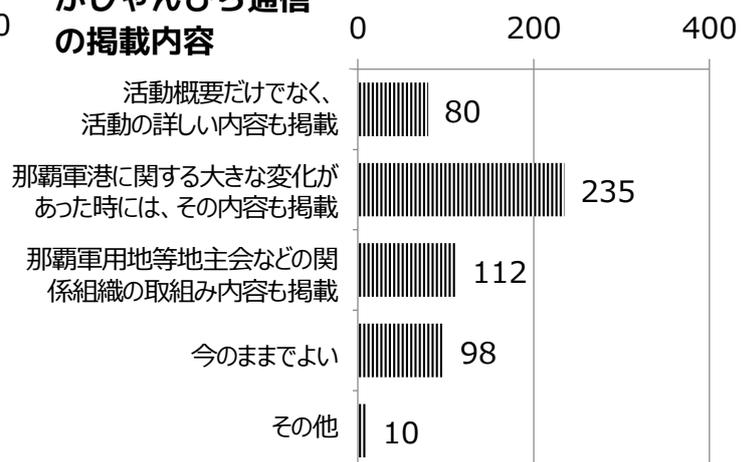


## がじゃんびら通信やホームページなどによる情報発信について

情報入手の手段



がじゃんびら通信の掲載内容



# アンケート調査集計結果概要

調査対象者：那覇軍港地権者 988 名

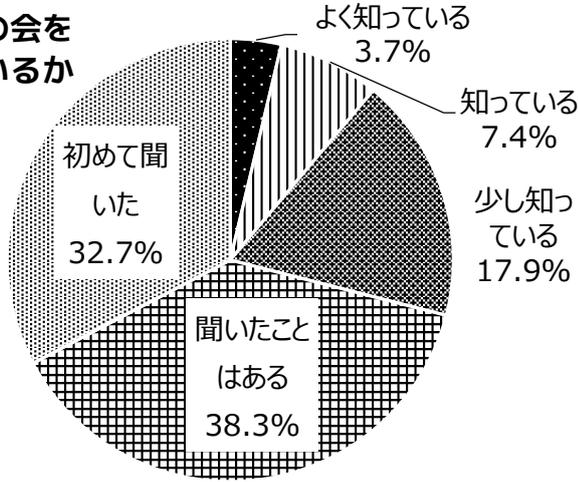
調査期間：平成 27 年 12 月 3 日（配布日）から 12 月 28 日（締切日）まで ※締切日以降も返信分は集計

調査方法：郵送での配布・回収による無記名式アンケート

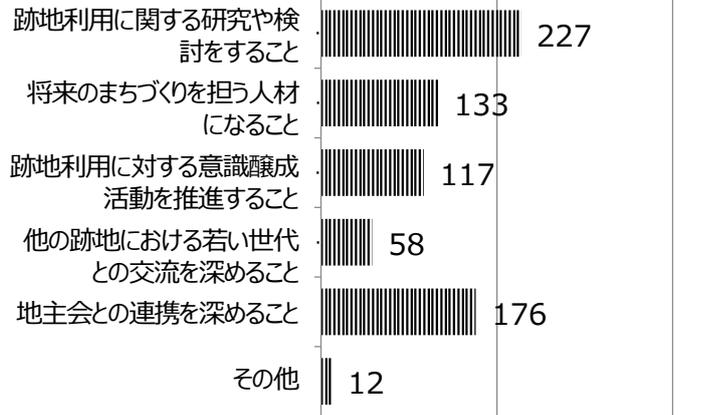
回収数：387 通（回収率 39.2%）

## 「那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」について

次世代の会を知っているか

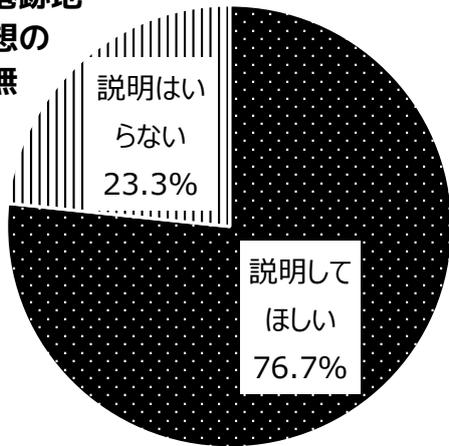


次世代の会の活動に期待すること

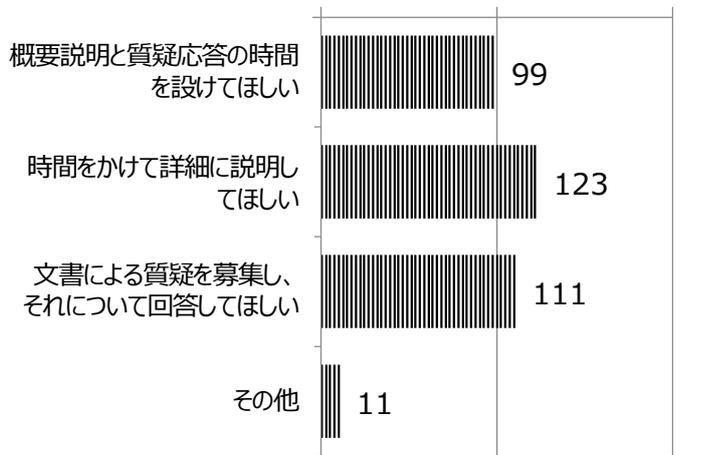


## 那覇軍港跡地利用構想について

那覇軍港跡地利用構想の説明有無

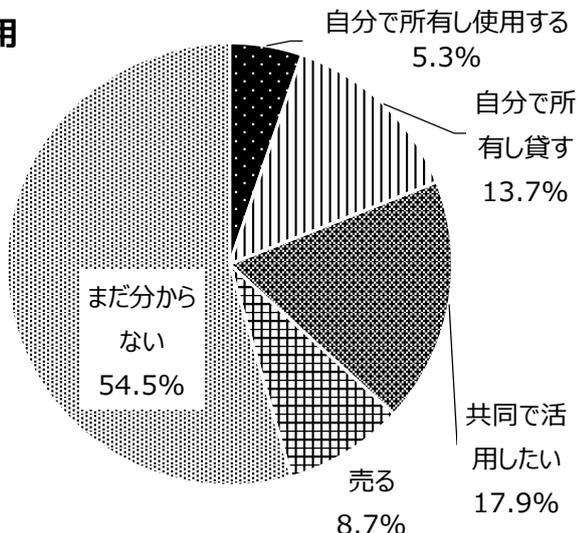


説明の方法

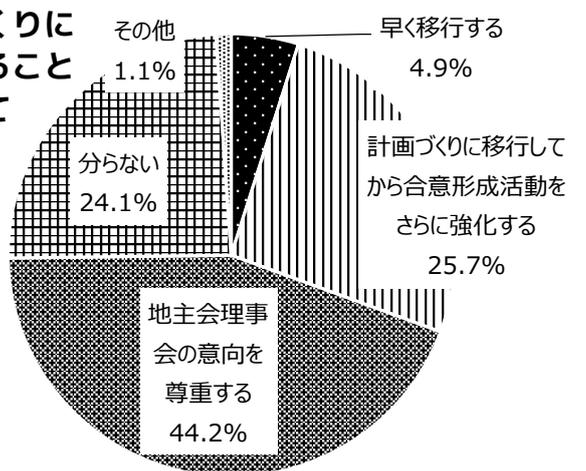


## 那覇軍港跡地利用に向けて

土地活用の意向



計画づくりに移行することについて



## 跡地利用計画づくりの段階（第2ステージ）への移行は適切と判断されました！

学識者を含めた「合意形成推進委員会」を設置し、これまでの合意形成活動の評価・検証を踏まえ、跡地利用計画づくりの段階（第2ステージ）への移行の適否について3回にわたって審議いただきました。委員会にてステージ移行は適切と判断され、その結果を受けて那覇市では次年度より跡地利用計画づくりに取り組むことを決定しました。



### 跡地利用計画づくりの段階（第2ステージ）に向けた委員のご意見

- 市外・県外の地主への情報提供や意見収集の仕方については、第2ステージにおける今後の展開としての検討事項となる。
- 那覇市庁内での連携のほか、那覇港管理組合との連携も重要であり第2ステージにおいては政策目標になると考える。
- 第2ステージに移行すると、より具体的な検討になっていくことから、専門知識の活用や民間企業も含めた検討の仕組みを整えることが重要である。
- 那覇軍港と西海岸地域における連携も今後の課題である。
- 市と地主会が信頼関係を結びながら連携することが一番であるとする。那覇軍港は空港にも近くポテンシャルが高い地域である。中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想にて広域的な観点から跡地利用の方向性を示しており、県としても連携、協力しながら取り組んでいきたい。
- 多くの市民・地権者への周知を今後進めていくということは非常に素晴らしい事である。跡地利用計画の検討にあたっては、関係市町村、専門家の方々との連携がより一層重要になってくると考える。第2ステージでも多くの方に参加頂きながら取り組んでいければよい。

### 今後の活動

## 跡地利用計画づくりにあたり、まずはそのプロセスを策定します。

いよいよ跡地利用計画づくりの段階（第2ステージ）に進み、跡地利用計画の検討が始まります。次年度では、跡地利用計画の検討組織や地権者及び市民・県民への意見聴取の方法など、跡地利用計画の策定プロセスを検討・策定することを予定しています。

「がじゃんびら通信」の内容及び那覇軍港跡地利用に関するお問い合わせ・ご相談は下記までおたずねください。

那覇市 総務部 那覇軍港総合対策室 担当：上原、濱川、又吉

TEL：098-861-6906 FAX：098-861-4092

E-mail: s-heidan001@neo.city.naha.okinawa.jp

那覇市 軍港

検索



戦後70年平和交流  
キャラクター  
「ナハトくん」